

だんないの道

第70号



題字・イラスト 福井 美里

2026年10月16日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない

代表者:美濃部裕道

連絡先:〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田 681 番 4

TEL:0749-50-3639

E-mail:info@cil-dannai.jp

代表あいさつ.....	P1	『M-1 グランプリ 2026』へまさかのトップバッター！.....	P2
八田の【江戸いろはかるた】	P3	72 歳、働き続ける理由	P4
活動報告	P7	ちょこっと紹介！ だんないブログ。	P10
編集後記	P12		

代表あいさつ

気がつけば、もう 10 月。9 月は当初、予定が入っていない日もあり、「少し余裕があるかな」と思っていました。ところが、だんない祭り、ピアサポート研修、自立支援協議会の全体会、湖北じんけんネットワーク主催「長浜じんけん講座」の初回など、終わってみれば時間に追われる毎日でした。もともとは、少し余裕がある 9 月に身体を充電させ、予定がみっちり詰まっている 10 月に備えようと思っていたのですが、それどころか、充電切れの状態が続くような日々でした。一方で、今年の夏も全国各地で多くの災害に見舞われ、自然の猛威を改めて実感することとなりました。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、いよいよ秋がやってきます。10 月も、たくさんのイベントを計画しています。その中でも、初めての開催となる「だんないカフェ」は、元気マンサロンの日にネイルなどの体験を実施しながら、来所された皆さんにカフェを楽しんでいただくという新しい試みです。今回は、滋賀県障害児協会さんが運営されている、虎姫駅の「ohana」さんにご協力いただき、本格的なコーヒーなどをご提供いただきます。当日は、だんないの中もカフェっぽい雰囲気にアレンジして、できるだけ“ホンモノのカフェ空間”に近づけたいと思っています。初めての試みなので、実際にどうなるのかはまだ想像が付きませんが、今からドキドキ、ワクワクしています！

さて、今年度は、湖北じんけんネットワークさんの活動にも参加させていただいています。湖北じんけんネットワークさんは、被差別部落に対する差別問題を中心としながら、それ以外のさまざまな差別問題についても精力的に取り組んでおられ、「長浜じんけん講座」の計画にも加わっておられます。そこに、だんないとして私も参画し、障害当事者としての思いを発言する機会をいただくようになりました。

ここ 2、3 年、こうした活動に参加させていただく中で、被差別部落に対する差別問題をはじめとする、さまざまな差別問題と、私たちが取り組んできた障害問題との間に、とても強い親和性があると感じるようになりました。

それは、「本人に問題があるのではなく、その人を取り巻く社会の側に課題がある」という捉え方です。この考え方に触れたとき、「これは、まさに障害の社会モデルと同じだ」と、自分の中にスッと入ってきました。障害のある人が暮らしにくさを感じる時、その原因を本人の身体や障害だけに求めるのではなく、社会の中にあるさまざまな障壁に目を向け、それを変えていこうとする。それと同じように、差別の問題についても、差別を受ける側に原因を求めるのではなく、差別を生み出している社会のあり方に目を向けていく。そこには、私たちが一緒に取り組める大きな共通点があるのではないかと思います。

そう感じるようになってから、私は湖北じんけんネットワークさんの活動にも積極的に関わるようになりました。今後も、こうした共通する課題をもとに、さまざまな団体の皆さんとつながり、協働していきたいと考えています。

そして最近、私にはちょっとした悩みがあります。「お天気問題」です。「今日は久しぶりの休日！」という日に限って、なぜか雨なのです。「今日は電車でどこかへ出かけて、ウォーキングでもしようかな」と思った日に限って、雨。活動がある日は晴れるのに、美濃部の休日は雨が多い。これは、なぜなのでしょう（笑）。

10月こそは、晴れの日には休日がうまくハマってくれることを願いつつ、しっかり充電する時間もつくりながら、たくさんの活動に取り組んでいきたいと思います。

美濃部 裕道（みのべひろみち）

『M-1 グランプリ 2026』へまさかのトップバッター！

中川 佑希（なかがわ ゆうき）

8月10日（月）、「電動くるま座」として『M-1 グランプリ 2026』大阪予選に出場しました。なんと私たちは、大会初日のトップバッター！

会場独特の緊張感に、僕は胸が締め付けられて心臓が痛くなるほど。ふと隣を見ると、相方さんも顔がカチカチに固まっていました（笑）。そんな極限の緊張状態でしたが、今持てる力を全開にして、最後まで自分たちのネタをやりきることができました。

今回の出演にあたっては、事前に大会事務局へ合理的配慮としてのサポートを相談させていただきました。当日は暗転中にスタッフさんが小走りでマイクを一番下まで調整してくださるなど、手厚いサポートのおかげで安心して舞台の昇降を行い、ネタに集中することができました。

障害を「個人」の問題ではなく、社会や環境の側にある「バリア（障壁）」と捉える『社会モデル』の視点に立つと、こうした適切な配慮や環境整備こそが、誰もが対等に挑戦できる場を作るのだと改めて実感した瞬間でした。

出番を終えた後は、チケットを購入して客席から他の出演者の漫才を観賞。多様な視点やスタイルが詰まったネタに大きな刺激を受け、笑いと共に学びの多い時間となりました。

最後は相方さんとスープを囲んでホッと一息、ささやかな打ち上げ。挑戦することの楽しさと、支えてくださる周囲への感謝を噛みしめる特別な一日となりました。

これからも自分たちのペースで頑張っていきたいと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

八田の【江戸いろはかるた】

ヘルパー 八田知明（はった ともあき）

い：犬も歩けば棒に当たる

これは悪い意味でも良い意味でも使われるそうですが、ちょっとしたことで“バッテリーが上がる”自分にとっては、だんないでの仕事もプライベートでも「歩」き続けたいと思う今日この頃です。車いすは使いませんが、車・バイク・歩き・手・頭(せめて)だけでも使って1ミリでも前へ！そして、「棒に当た」れたら良いですね…

え：えびで鯛を釣る(わずかな労力で、大きな見返りを得る)

全く、こういうタイプではありません。というか逆です🐱。とにかく動く「犬」のように、言わば泥臭く、楽ではない地道な活動を続けていければ良いのですがね。だんないみたいに。。

す：すしよりも歌舞伎

(物質的なことよりも、精神的な満足を優先させること)

これって、なかなか言うほど簡単ではないと思うのです。目に見えるもの(物質的なこと)に私たちは囲まれていますから。「優先」が鍵かな…Youtube・メルカリ・ジモティー・ヤフオクが好きです(美濃部は野球観戦・ビールって、ご存じですよ…)、でも、「すし」に引っ張られすぎないように気をつけます！もちろん、介助後のやり切った感も良いですね。ライフワークのボランティアも最高です！だんないのみんなも、バランスよく生活を楽しんでいるので、さすがだなと思います。

ち：塵(ちり)積もって山となる

(小さなことでも積み重ねれば大きな成果になる)

…まだまだ道半ば(「振り返っても、そこにはただ風が吹いているだけ」という歌詞の歌がありましたね、そんな感じです)

ん(京)：京の夢大阪の夢(望みや願望は人それぞれであること)

「京」は公家社会だから名声を、「大阪」は天下の台所なので富を求める…確かに。CIL だんないの望みや願いは、世の中の多くの人が目指していることとは少し違っているかもしれないけれど、きっとどこかで重なっているところもあるはず。“だんないの道”をお読みくださっている皆様が、琴線に触れる部分に共感をいただき、こうしてご支援を賜っておりますことに、心より感謝申し上げます。引き続き、代表と、それをサポートしているだんない全員に、これからもお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。

72 歳、働き続ける理由

ヘルパー 佐藤保夫（さとう やすお）

昭和 29 年生まれ。

72 歳。

だんないに勤めて 10 年ちょっとになります。まさか、この年齢になるまで、障害者ヘルパーを続けていて、日常生活のいろいろな介助に携わっているとは、自分でも想像していませんでした。

自分が若い頃に描いていた 70 歳のイメージ。それは、湯のみを両手で抱えて、こたつで静かにお茶をすすっている……、歌にあったそんなイメージだったのですが、実際はそれとはずい分違っていました。

意外に身体が動くのです。

そして身体だけではなく、ものの見方、感じ方も、何かゆっくりと動いていることに、ふと気が付きます。

この年齢になりながらも、障害者ヘルパーの仕事を通じて、実にいろいろな刺激を受けながら、自分自身の中の変化をぼんやり眺めている。そんな感覚を、ちょっぴり心地よく思っているのです。

その刺激のひとつ。

この 1～2 年間、仕事で「人権講座」に同行させて頂く機会がけっこうありました。

きっかけは、「湖北じんけんネットワーク」主催の講座シリーズでした。聴いてみると、これがすこぶる面白い。障害者問題だけではなく、部落差別問題、在日コリアンの問題、外国人と多文化共生、LGBTQ……、多々のテーマの講座に、たいへん興味深く参加させて頂きました。さらに仕事以外にも、自分で情報を収集して参加するようになりました。

実は、私は、人権講座がこんなにも多く、あちこちで開かれているということを知りませんでした。人権講座というものが、何やら「道徳の授業」っぽいイメージがあって、敬遠していたのだと思います。

けれども、講座から伝わってくるものは、シンプルでストレートなものでした。

- ・差別の事実があること。
- ・それは何故いけないのか、自分の言葉でわかること。
- ・キャッチャー（話の受け手）になること。

それらは、わかりやすく、力強いものだったのです。

思い出しても恥ずかしいことがあります。

今から 40 年以上も昔。20 代後半の若かった頃。

職場でのある会話の流れで、私はこう言いました。

「それ、バカでもチョンでもできるんじゃないですか。」

そばで聞いていた同僚が、表情をゆがめて返しました。

「私がそのチョンです。」

佐藤さんは、意味をわかって言ってるんですか」。

.....。

恥ずかしかった。

同僚は、在日コリアンの方でした。

当時、インスタントカメラが流行っていて、誰でも写せる手軽さを、「バカチョンカメラ」と一部では言っていたのです。今では考えられないことですが、そういう時代でした。

私は、その言い方が、朝鮮人・韓国人を指していて、しかもものすごく侮蔑（ぶべつ）的な言葉であるとは、本当に知らないでいたのです。

言葉の意味を知らなかったことだけではありません。誰でも簡単にということ、を、「バカでもチョンでも」と、そう表現してしまう。私の中に、人を見下している感覚がしっかりとあったのは間違いありません。私という「人間」の問題でした。

私はそのことをとても恥じました。

言葉で誰かを傷つけていないだろうか。言葉を使うことに、より慎重でありたい。私はそう思うようになりました。自分が傷つけられることが嫌なように、人をも傷つけることを嫌だと思える敏感さを身に付けたいと思いました。

そして、この年齢になってからの人権講座です。

いくつかの講座に参加していると、テーマは変わっても、それぞれの底に共通して流れている何かがあるのではと思えてきます。はっきりつかめている訳ではありませんが、そのひとつに。

社会的に、経済的に、精神的に、身体的に他、強くはない立場の人達があります。決して強い立場ではないからこそ、激しい憤り（いきどおり）や、深い哀しみや、やるせない怒りや、どうしようもない焦燥に抗（あらが）いながら、どう生き抜いていこうとしているのか。その事実。

強者ではないからこそ示される生き様。

私の感情は、そうしたところに強く引き寄せられていきます。そこに触れることで、自分の中のトゲトゲした部分が見えてきます。それでも少しずつ丸みがかってはいく、そんな想いも抱いています。年を取っても、あるいは年を取ったからこそ、こんな風に感じていけることを、私は、とてもありがたいことだと思っています。

人権講座との出会いのように、この仕事から受け取る刺激はまだまだたくさんあります。その刺激を頂きながら、私の中の「人間」を、ゆっくりとでいいから、もう少しだけ動かしてみたい。

ゆっくり、ぼんやりとでいいのです。

この年齢になっても働き続けたい、そう思う理由がそこにあります。

活動報告

7月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
2日	令和8年度第1回 長浜市成年後見・権利擁護関係者協議会
3日	社会福祉法人ひだまり重度訪問介護研修
4日	福祉とデザイン研究会
6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 こども班
	ハラスメント対策研修
	元気マンサロン
	ネイルサロン
7日8日	「虐待防止および身体拘束適正化」について 職員研修
8日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 こども班コア会議
	第28回長浜市地域福祉活動計画推進委員会
9日	DET(障害平等研修)長浜市社会福祉協議会
10日	社会福祉法人ひだまり重度訪問介護研修
11日	ピープルファースト「カードゲーム企画」
13日	21連続基礎講座
14日	腰痛対策・セルフケア研修
15日	滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会
16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討班会議
17日	大津市障害者自立支援協議会 新人研修「身体障碍」
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談体制再構築プロジェクト
	生き生きサロン
20日	元気マンサロン
	映画会
21日	啓発活動
	企画・ケース会議
22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班会議
	滋賀県相談支援従事者初任者研修
23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議
24日	滋賀県相談支援従事者初任者研修
25日	ゆめ風基金特別シンポジウム
30日	長浜市地域連携ネットワーク会議研修会
31日	長浜市しょうがい福祉推進協議会

8月3日	第1回防災・BCP研修会
	元気マンサロン
4日	ネイルサロン
5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
6日	ふらっとくるま座
7日	夕涼み会
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域移行推進班会議
11日	千田納涼祭
13日	DET(障害平等研修)長浜市社会福祉協議会
17日	元気マンサロン
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会
20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討班会議
21日	21連続基礎講座
	生き生きサロン
24日	滋賀県障害者施策推進協議会
25日	木之本花火大会
27日	湖北じんけんネットワーク会議
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議
31日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
9月1日	モニタリング検証
2日	滋賀県障害者ピアサポート基礎研修
	ネイルサロン
3日	滋賀県障害者ピアサポート基礎研修
4日	わだちプロジェクト会議
	きらめき人権講座
5日	NPO 法人ゆに重度訪問介護研修「見学」
	第6回日本 ONE ボッチャ選手権
7日	元気マンサロン
9日	柳原先生打ち合わせ
10日	DET(障害平等研修)長浜市社会福祉協議会
11日	滋賀県条例啓発資材の作成に係る企画会議(オンライン)
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 令和8年度第1回生活の充実部会コア会議
12日	リュートスター滋賀 練習会
14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 こども班パネルディスカッション
	第2回だんない大賞 つるやカフェ
	りあん運営委員会

9月15日	企画会議
	ケース会議
16日	滋賀県障害者ピアサポート専門研修
17日	滋賀県障害者ピアサポート専門研修
	長浜花火大会
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談体制再構築プロジェクト
	長浜じんけん市民講座
	生き生きサロン
	DET(障害平等研修)打ち合わせ
19日	第 10 回だんない祭り
20日	第 3 回「和」ポッチャ長浜杯
21日	元気マンサロン
23日	第 38 回いのち・愛・人権のつどい
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議
25日	福祉の夜明け取材打ち合わせ
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 全体会議 (映画「つばさをひろげて～私たちは地域でくらしたい～」)
	童夢 KANSAI フェスティバル 出店者説明会第 2 回(Zoom)
26日	彦根市人権のまちづくり講演会 2026
27日	劇団石(トル)ひとり芝居「キャラメル」
29日	湖北じんけんネットワーク会議
	長浜市しょうがい福祉推進協議会

ちょこっと紹介！ だんないフログ。



npodannai

...



npodannai 7月3日、社会福祉法人ひだまりさんで重度訪問介護研修(一日目)があり、講師としてお招きいただきました。

今日は2日間あるうちの1日目にあたり、制度の概要と、コミュニケーションについてお話しました。

2017年からお招きいただいている、ひだまりさん。ちょうど10回目かな？

今年は県内各地から、なんと15名が受講されています。お話をさせていただく立場ではありますが、今年も自分自身の福祉や介護に対して襟を正されるひとときになりました。

10日に開催される2日目も気を引き締めて臨みたいです。



npodannai

—



npodannai

...



npodannai 7月7日8日と、毎年お越しいただいている NPO 法人日常生活支援ネットワーク パーティ・パーティの椎名保友さんに、「虐待防止および身体拘束適正化」について研修していただきました。

具体的な事例を通して、職員に分かりやすく伝えていただきました。

パターンリズムなど、職員一人一人に刺さるメッセージがありました。

今後の介助に活かしていきたいものです。

椎名さん、2日間ありがとうございました！

npodannai 8月7日、千田夕涼み会(ちょこっと祭り)を開催しました。

宝探し、まきはんこさんによる手ぬぐい作り、カレーとスイカをいただき、ボッチャ、花火と盛りだくさんなプログラムを行いました。

子どもさん20名、大人の方10名ほどの参加があり、とても盛り上がりました。

にぎやかな子どもさんたちに、元気をいただきました！

皆さん、ありがとうございました！



npodannai 9月14日、第二回だんない大賞を、つるやカフェさんに授与させていただきました。

だんない大賞とは、すべての人が快適に楽しく過ごすことができるよう、バリアフリーおよび、合理的配慮の推進に尽力されたお店の功績をたたえ、だんないが表彰させていただく、今年度創設した取り組みです。

大賞の楯を店長さんにお渡ししたところ、とても喜んでいただけて、こちらも大変嬉しい気持ちになりました。つるやカフェさんは、木ノ本駅近くにあつて、多目的トイレが整備され、店内はフラットで机や椅子が動かせて誰もが入店しやすいです。

そして、何と言っても店長さんの気さくな接客により、いろんなことをお願いしやすい雰囲気素敵です。

みなさんも、ぜひ行ってみてください！

今後も定期的に様々な店舗を表彰させていただき、バリアフリーや合理的配慮の充実に寄与していきたいです！



npodannai 9月19日、第10回だんない祭りを開催しました。

早崎さんにブレスレット作りを、高月さんにはお抹茶体験をお願いし、千田のみなさんに楽しんでいただきました。このところのバタバタもあり、広報をほとんどしていませんでしたが、ふたを開けてみたら子どもさんから高齢者の方まで20名以上の方が来てくださいました！

用意していた和菓子は余ることなく、いい感じの楽しい時間となりました！

みなさん、ありがとうございました！



npodannai 10月3日、アルプラザ平和堂長浜店で、ボッチャ体験会を開催させていただきました。

F.C リュースター滋賀や、滋賀ボッチャリーグの田中さんらのご協力を得ながら、約20組の方々にボッチャを体験していただきました。

多くのお子さんたちと触れ合って、ボッチャの魅力を伝えることができました！

アルプラザ平和堂長浜店さんをはじめ、ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！



編集後記

朝晩の冷え込みが厳しく感じるこの頃ですが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

だんないの事務所の敷地内に一本の木が植えてあります。植物にうとい筆者は、何年も勤務していたのに、その木について気にもとめていませんでした。

最近、事務所の外に出ると、ふと何とも言えない甘い香りがしてきて、ああ、これは確か小学生の写生の時、描いていた保育園に植わっていて、それで覚えたキンモクセイという木のおいだったと思い出しました。少し物悲しい感じがする秋があまり好きではない筆者も癒されています。

だんないは、代表美濃部が書いた通り、この「物悲しい」10月も事務所にあるホワイトボードに毎週月曜日から土曜日まで隙間なく予定が書き込まれていて、皆やる気満々です。

今号もお忙しい中、お読みいただき本当にありがとうございました。皆様の厚いご支援に感謝しつつ、ペンを置きます。

NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道

副代表 中川佑希

理事 谷口健人、横山卓馬

郵便振替口座番号：ゆうちょ銀行木之本支店

00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田 681 番 4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

URL : cil-dannai.jp

E-mail : info@cil-dannai.jp